

さくっと！ サーバー便り

HPE 公式オンラインストア (HPE DirectPlus) からのおすすめ情報と
今気になる話題を毎月お届け

2025年2月号



今月のおすすめ情報

最新導入事例紹介！ 「安心・美味しい・安い」お寿司 を届けるテクノロジー！

大手回転寿司チェーンのくら寿司では、DX に向けた活動を全社的に展開しています。取り組みの一環として店舗運営や顧客向けサービスを支える店舗サーバーの刷新をし、省スペース性に優れた HPE ProLiant MicroServer を採用しました。システムの安定性・信頼性を大幅に向上させると同時に、今後のサービス追加にも余裕で対応できるパフォーマンスも確保。グローバル展開を加速する武器としても活用していく考えです。

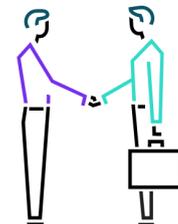
[事例はこちら](#)



HPE DirectPlus で Windows Server 2025 見積開始しました！

Windows Server の最新バージョンである、Windows Server 2025 の HPE OEM 版が HPE DirectPlus でお見積可能になりました。サーバー本体と一緒に見積いただきましたら、プリインストールして出荷いたします。是非ご利用ください。出荷開始は 2 月中旬を予定しております。

HPE と
マイクロソフト
は 30 年以上の
パートナー
シップ！



[お見積はこちらから](#)

今月まで！！ HPE DirectPlus のお見積で 100 名様に 2000 円分の アマゾンギフト券が当たる！

キャンペーン期間 2025年2月28日(金)
お申込み分まで

- ✓お見積の数だけご応募可能です
- ✓応募フォームから見積番号ならびに必要な事項をご入力してください
- ✓24HPE あるいは 25HPE で始まる HPE DirectPlus でお取り扱いのある全ての製品のお見積が対象です。例：24HPE12345678
- ✓2024年11月18日～2025年2月28日に作成されたお見積が対象です



[応募フォームはこちら](#)

関連情報

HPE DirectPlus
サーバ OS
管理ソフトウェア



サーバー便り
バックナンバー



Windows Server 2025 + HPE ProLiant Gen11 で セキュリティ、管理効率、パフォーマンスアップ！

最新のプラットフォームを利用するメリットとは？

最新の OS である Windows Server 2025 と最新世代の HPE ProLiant Gen11 サーバーを組み合わせることで、セキュリティや管理効率において相乗効果を期待することができます。最新 OS は数年先のニーズを見越して開発されているだけでなく、共に進化しているサーバー含めた周辺機器の性能を最大限に引き出せるように設計されています。AI など最新テクノロジーを安全・安心して導入するため最新のプラットフォームの組み合わせをおすすめします。



Windows Server 2025 と HPE ProLiant Gen11 の4つの特長

Windows Server 2025

多層的にセキュリティを強化

WS 2025 では認証プロセスがさらに強化されています。SMB 機能でブルートフォース攻撃など様々なサイバー攻撃を防止する他、オンプレミスでも VPN 不要で安全に Windows PC からファイルサーバーにアクセス可能になりました。

ホットパッチ機能※1

コンピューターを再起動せず OS にセキュリティ更新プログラムをインストールできる機能です。WS2025 からは、x86 サーバーでも本機能を使えるようになりました。システムの再起動にかかる時間を省くことができます。

GPU パーティショニング機能

WS 2025 は、GPU を分割して複数の仮想マシンと共有する「GPU パーティショニング」機能を提供しています。この機能は WS2025 から対応するようになり、オンプレミスで機能が使えるようになりました。

WSFC※3 とライブマイグレーション

WS2025 では、クラスターソリューションである WSFC を Active Directory 不要で構成可能になり、小規模環境でも構成が可能になりました。また、Hyper-V 機能のライブマイグレーションも WS2025 では Active Directory が不要になりました。

セキュリティ



管理効率



GPU



エッジ環境



HPE ProLiant Gen11 サーバー

ファームウェアセキュリティ

HPE ProLiant サーバーは、システムの根幹であるファームウェアが改ざんされた場合、自動検知し、システムを止めずに復旧します。Gen11 では PCIe カードのようなオプションカードの起動時に整合性確認をする機能も追加されました。

クラウドでサーバー管理

クラウド型のサーバー管理ツール「COM※2」は管理サーバーを必要とせず、現場に分散設置されたサーバーをクラウドから一元管理可能。COM から直接最新のファームウェアを適用できるので、都度ダウンロードする必要がありません。

GPU 対応モデルを拡充

HPE ProLiant Gen11 では、GPU 搭載可能なモデルのラインアップが拡充されました。液冷機能など GPU による発熱を効率的に冷却する機能も新たに登場しています。また、GPU 搭載位置をサーバー前面にし、集約度を向上しています。

多様な環境に適応するモデル

HPE ProLiant DL145 Gen11 は耐粉塵、耐衝撃性を持ち、-5° ~ 55° と過酷な環境でも動作が可能なコンパクトサーバーです。他にも超小型タワーサーバーである HPE MicroServer Gen11 もエッジ環境におすすめです。

※1：2025年1月の時点でプレビュー中の機能になります ※2：HPE Compute Ops Management の略。2025年1月の時点で HPE DirectPlus での取り扱いは準備中です
※3：Windows Server Failover Cluster の略

日本ヒューレット・パッカート合同会社
〒136-8711 東京都江東区大島 2-2-1

Hewlett Packard
Enterprise

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。日本ヒューレット・パッカート製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。日本ヒューレット・パッカートは、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱字に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。記載事項は個別に明記された場合を除き 2025年1月現在のものです。

a00144913jpn

お問い合わせ先